日立市立中里小中学校

重点的に取り組んだ活動・内容

項　　目	実　　践　　状　　況
1　実践１ 【人権メッセージ】	・社会科の時間や道徳の時間を用いて「人権とはどんなものか」「どんなことが人権を守ることになるのか」を考える授業を行った上で、人権メッセージ作りに取り組んだ。 ・後期課程における、校内の人権メッセージの募集タイトルは「伝えよう、日々の想い～思いやり・認め合い・感謝」としたことで、人権は身近であり自分以外のだれかと関わることによって、守り守られるものであることを実感できるようにした。
	成果 ・「感謝」や「思いやり」の姿勢が、人権を守ることにつながることを理解することができた。 ・「人権とはなにか」を考えた後に人権メッセージ作りに取り組んだことから、特に９年生は公民で取り扱う内容であったため、意欲をもって人権分野の授業に取り組むことができた。
	課題 ・「人権とはなにか」という視点ではなく、「感謝」や「思いやり」といった心に寄り添えるような構成で、授業を行うべきであったという反省がある。そこから、もっと日常生活にフォーカスを当てたものを子どもたちが想像できるようにしたい。
2　実践２ 【いじめをなくそう人権教室】	・本校３年生～４年生を対象に、「いじめ」という行為について、登場人物それぞれの気持ちを考えることを通して、他人への思いやりやいたわりの心といった人権尊重意識を養うことを目的として実施した。 ・アニメビデオの鑑賞を行い、そのビデオに対する感想をもとにした話合い活動を行い、人権尊重意識を醸成できるようにした。
	成果 ・「いじめや嫌なことを言われたときは大人に言う」や「いじめや嫌なことをしている人がいたら注意する」といった意見が子どもたちから挙がり、子どもたちは「いじめは人権を侵害する行為であり、もし侵害された場合には一人で抱え込まずに誰かへ相談すること」であると理解することができた。
	課題 ・意見の共有の仕方などについて、挙手した後に発表という形式だと発表することができない児童がいることも考えられるため、ワークシートを見せ合ったり ICT を利用して意見を打ち込んだりする共有の仕方を検討していきたい。また、発達段階に応じて写真や書画カメラを活用することも方法として考えられる。